

東みよし

6月議会号

暑～い夏。

元気いっぱい

三庄っ子



平成十七年
辛酉

やまもも

三庄小学校

主な内容

- オアシス2階リニューアル 6
徳島おいしんぼひろば
- 一般質問に9人登壇 8
- 仲良しグループ 16

6月定例会は、6月11日から6月21日までの11日の会期で開催しました。

この定例会では、平成24年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、平成25年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、条例改正や8件の専決処分承認、人事案件などを審議し、いずれも原案の通り承認可決しました。

一般質問には9人の議員が登壇して、アレルギード対策や企業誘致などについて活発な質問を展開し、町の考えをただしました。

西庄地区の活性化事業に70万円

休校の幼・小学校を活用



休校中の西庄小学校

平成21年度に休校となった西庄小学校や幼稚園施設等を活用し、歴史的生活文化を再現する施設整備や既存施設の改修を行うための設計監理費用です。「水車」による石挽き、薪や炭などを燃す「いろり」、穀物などを加熱する「かまど」等

の整備を計画しています。また、整備された施設では、体験等イベントへの活用や、特産品の研究・開発や加工・販売を地域住民主導（よびしよ）の会

代表 平野重明氏 会員

約27名）で行います。農業や特産品への付加価値として、西庄地域ならではの歴史的価値を生みだし、生産拡大や販路拡大、情報発信へと繋がっていく、町PR、地域活性化今年度に繰り越されたものです。

6月定例会に提案された平成24年度と平成25年度の各会計の補正予算は次の通りです。

【平成24年度】

会計名	補正額	補正後の予算額	採決の結果	
一般会計(第9号)	3億4,843万1千円	85億6,758万1千円	全員賛成で可決	
特別会計	国民健康保険事業(第3号)	9,912万4千円	15億9,185万円	全員賛成で可決
	簡易水道事業(第2号)	0	1億1,912万4千円	全員賛成で可決
	公共下水道事業(第3号)	▲906万7千円	2億2,328万2千円	賛成14、反対1で可決
	後期高齢者医療事業(第1号)	▲668万6千円	1億7,819万8千円	全員賛成で可決
	三加茂財産区(第1号)	▲7万2千円	3万9千円	全員賛成で可決

【平成25年度】

会計名	補正額	補正後の予算額	採決の結果
一般会計(第1号)	1億295万円	74億3,567万9千円	全員賛成で可決
公共下水道事業特別会計(第1号)	0	2億8,220万円	賛成14、反対1で可決
水道事業会計(第1号)	0	1億3,882万1千円	全員賛成で可決

学びのイノベーション事業に152万円

国の委託事業を足代小学校で

足代小学校が総務省フューチャースクール推進事業として3年間実施してきた情報通信技術面における調査研究は、平成24年度で終了となりました。この間に整備されたタブレットPCなどが富士通株式会社より無償貸与され、電子黒板、ネットワーク機器等のその他の機器については、富士通リース株式会社より教育委員会に寄附（無償譲渡）されました。文部科学省は、総務省の情報通信技術面の検証にあわせ、デ



ICT 授業（足代小学校）

ジタル教科書・教材を使用したアソシエイトを実施する等、全国で10校の実証校を公募し、足代小学校が選ばれました。実証環境の整った足代小学校において、国の委託事業「平成25年度学びのイノベーション事業」を実施します。



コミュニティースクール（加茂小学校）

加茂小学校が2年間実施してきましたコミュニティースクール推進事業を、今年度から町内の小・中学校全校で実施します。町内4小学校で77万5千円、2中学校で38万8千円の事業費です。コミュニティースクール推進事業とは、文部科学省がコミュニティースクール（学校連

営協議会制度）を円滑効果的に実施させるための事業です。子どもたちを学校と保護者や地域の皆さんが協働し、育んでいこうとするものです。加茂小学校では、絵画指導や丸付け隊、読み聞かせ、茶道、わくわく広場などいろいろな事業を展開しています。

コミュニティースクール推進事業 町内小・中全校で実施

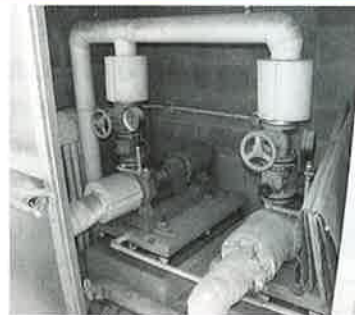
人事案件に同意

かんさいいん
監査委員



なかがわ よしかず
中川 富量氏

前任者の辞任により、後任に中川富量氏（60歳、昼間）を選任することに同意しました。任期は4年です。



取り替える揚水ポンプ

三庄小学校の揚水ポンプは設置から30年を経過し、2台のうち1台が故障し、もう1台も経年劣化によりポンプが停止して、断水の恐れがあります。このため型式の異なるポンプ2台を取替えます。また、高架水槽を含む貯水槽の塗装も行います。

揚水ポンプ取替えに 貯水槽の塗装修繕に 52万円 66万円

陳 情

陳 情 の 名 称	代 表 者	審 査 結 果	採 決 の 結 果
核兵器全面禁止条約の締結に関する陳情書	2013年国民平和進行徳島県コース実行委員会 実行委員長 山本 正美	趣旨採択	全員賛成

東みよし町議会では教育厚生、総務、産業建設の3常任委員会を設置しています。本会議から付託された議案などを6月12日、13日、17日に開催された各常任委員会で活発に審議しました。その主な内容を報告します。

教育
厚生

三 庄小学校プールのトイレ改修
洋式・水洗化と合併浄化槽に

現在、三庄小学校プールの男女トイレは、和式でくみ取りによる処理をしています。当初予算において260万円の改修予算を確保していましたが、男女トイレの洋式・水洗化と合併浄化槽の設置など当初計画を修正し

たことよって、工事請負費追加が400万円と設計委託料が31万5千円となりました。また、管理棟解体後の校舎接続部分の落下防止壁設置工事をします。工事費用は130万円。



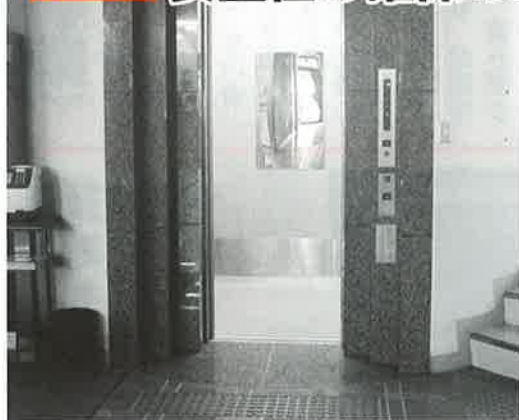
三庄小学校プール



三庄小学校プールの和式トイレ

総務

両 庁舎エレベーター修繕に70万円
安全性の確保のために



三加茂庁舎のエレベーター

三加茂庁舎は建築後約20年が、また三好庁舎は27年が経過し、本年4月に実施した業者によるエレベーター点検において、一部機器の経年劣化が指摘されました。そこで制御盤や自動着床装置などの部品を取り換えることにより従来からの安全性を確保し、住民の皆様方に安心してご利用いただけるように修繕します。三加茂庁舎62万円、三好庁舎8万円の修繕料。



三好庁舎のエレベーター



凸凹になった道路

町道田中興聖寺線は、アスファルト舗装が劣化し、道路に穴が開くなど雨天時には水が溜まる状態です。車や歩行者の通行量が多く、小学校の通学路でもあるため、県単土地改良事業で舗装修繕を行います。延長200m、幅員4m。

産業
建設

町 道舗装修繕に300万円
町道田中興聖寺線

教育振興のために寄付してくれたお金108万円を有効に活用するため、足代幼稚園・三庄幼稚園・屋間幼稚園の3幼稚園に、子供の基礎体力づくりに効果のある体技台セット（滑り台、平均台、運動用マットなど）を整備します。（加茂幼稚園は整備済み）

教育
厚生

体 技台セットに108万円
児童の基礎体力の増進に



滑り台などの体技台

総務

災

三庄小学校新体育館に備蓄 費用280万円

南海トラフ巨大地震及び中央構造線活断層を震源とする直下型地震の発生が危惧されている今日、東みよし町では災害対策の重点事業として、災害時備蓄品の充実に取り組んでいます。平成24年度からの繰越予算では、新築される三庄小学校

校体育館に約300万円余りで保存食、毛布、発電機等を備蓄。また、平成25年度は、今議会で20万円余りを追加し、総額280万円の予算で、避難所等で使用する間仕切りや簡易ルーム、ラジカメ、懐中電灯等を備蓄します。



工事中の三庄小学校体育館



加茂小学校体育館備蓄庫

産業 建設

用水路改良工事に500万円 安心した水の供給のために

足代台地区の町道西台線に沿う用水路は、老朽、劣化して漏水箇所が多数あります。また、用水路が浅く幅員も狭いため、大雨時には水路が詰まり、道路に水が溢れる時もあります。今回、県単土地改良事業で用水路の改良を行います。延長170延米、幅員70延米。



改良が待たれる台地区の用水路

産業 建設

総合観光ポータルサイト ホームページ制作委託料40万円

インターネット内に存在する、町の交流情報の玄関口となるWebサイトを製作します。「各観光施設」「イベント・まつり」「農産物」「特産品」「芸能」など各ジャンルのサイトをまとめた総合サイトであり、更新頻度を重視したサイト構造を予定しています。町ホームページなど既存のWebサイトと相互リンクし、町の情報発信に向

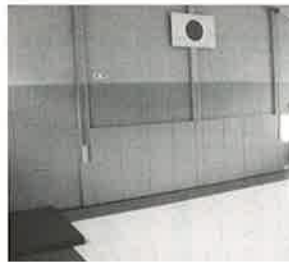
けて効果的かつ相乗効果を高めます。



教育 厚生

安

全防護マットの設置に65万円 柔剣道場の東壁面に



設置された安全防護マット

三好中学校入口にある東みよし町柔剣道場の道場は、半面を剣道場として、もう半面を柔道場として使っています。昨年柔道専用畳を新しくしましたが、規定の試合用コート一面をぎりぎりで見られる広さしかありません。そのため、コートと東側の壁面の距離がわずかしかなく、試合時に勢い余って壁にぶつかるなどの危険性がありました。今回、クッション性のある安全防護マットを東壁面に設置し、衝撃を緩衝します。

産業 建設

公用車購入費120万円 用地対策課の効率化に

4月に新しく設置された用地対策課は、吉野川加茂第二堤防事業の境界未確定地の解消や町営墓地整備のために必要な関係機関、保健所、県用地対策課、徳島税務署等の協議及び候補地、規模等の検討と用地買収に向けての準備を主に担当しています。課長の他2名の職員で仕事をこなしていますが、専用の公用車がありませんでした。今回、軽自動車箱バン1台を購入し、仕事の効率化を図ります。



地域拠点整備事業対策特別委員会

委員長 安藤孝明

6 月18日、委員会室において、地域拠点整備事業特別委員会を開催しました。担当者から産業課における主な地域拠点整備事業について、予算執行状況一覧等の報告書を用いての事業内容及び成果等の説明を受け、質疑をおこないました。

オアシスの修繕に向けて

吉野川ハイウェイオアシス整備事業では、全体

的に施設の老朽化に伴う大規模な修繕が必要ではないかという意見が出されました。今後、大規模修繕に向けて建物全体の状況調査を実施することになりました。また、施設内にありましたレストラン「エトランジェ」のリニューアルにかかる諸経費や2階多目的ホールの利用はどうしていくのかについて意見が出されました。また、町が筆頭株主であることから、オアシスの経営状況等について、町が財務諸表等で把握することや、委員会で出た様々な指摘を町長からオアシスへ提言すべきだという意見が出されました。



ぶぶるパークで開催された三輪車耐久レース

ぶぶるパークの拡張

続きまして、水辺の楽校、ぶぶるパークの拡張計画事業について、今年度より5カ年で現行のぶぶるパークを山口谷川まで拡張するという報告を受けました。

これを受けて委員から、計画拡張によって生じる伐採した竹の処理の問題

や、駐車場等の整備の必要性、マシ対策についての意見が出されました。

増川笑楽耕の課題

最後にグリーンツーリズム施設事業について、増川笑楽耕の利用に関する課題を「増川の地域活性化を考える会」の資料を基に検討しました。宿泊客の減少という課題に対し、活性化を考える会を中心に、新規イベント開催による集客数の増加によって対応していく等の報告を受けました。



増川笑楽耕

平成24年度

吉野川オアシス(株)決算 159万円の黒字

吉野川オアシス株式会社は平成24年度決算が6月定例会に報告されました。平成22年度・23年度の2年連続の赤字から脱却し、今年度は、黒字決算となっております。黒字額は、159万171円(当期利益) 昨年の2,290万3,112円(当期損失)から、大きく改善されています。純売上高も6億2,516万円で昨年(6億623万円)より、1,893万円の増収となり、物産と飲食が増収となっております。これは、事業形態の見直しやコストの削減、社員一丸となったの努力によるものだと思います。

なお、特別損失(役員退職金)1,076万円を引いて159万円の黒字となりました。飲食部門では、平成20年度から2階で営業していた「レストランエトランジェ」が5年間の営業を終了し、平成25年度7月からは、2階を貸し出すことになっていきます。資本金3億1,500万円で今年度の利益159万171円を追加し、純資産合計は、3億1,669万2,107円となっております。(株主資本等変動計算書より)町へ支払う使用料は、1,000万円で、町は主にオアシス施設の借地料877万2,000円に充てています。



吉野川ハイウェイオアシス

町村議会研修会

5月10日（金）、第22

回徳島県町村議会研修会
がつるぎ町就労改善セン
ターで開催されました。
徳島県町村議会会長の小
坂重夫氏やつるぎ町長
の兼西 茂氏の挨拶の後、
つるぎ町商工観光課職員

による「巨樹の町つるぎ」

と題しての町の紹介があ
りました。続いて、悪役
俳優で有名な八名信夫氏
による講演やつるぎ町無
形民俗文化財の「天の岩
戸神楽」を松尾神社の境
内で鑑賞しました。



挨拶する小坂県町村議会会長



天の岩戸神楽



講演する八名信夫氏

追跡

あの質問は どうなった？

議員の質問や提言が、町政にどのように反映されているのかを、
これまでの質問の中から一部を取り上げ追跡・検証してみました。

平成 25 年 4 月 1 日から、中学
3 年生修了まで医療費助成対象年
齢を拡大しました。（ゼロ歳から
小学校 6 年生終了まで無料だった
ものを、町単独事業で拡大）



その後

答

義務教育期間であるという事を考えれば、中学卒
業まで医療費無料化を拡大すべきだと考えています。

問

現在小学 6 年生までの医療費無料化を、中学 3
年生までに拡大できませんか。

平成 24 年 第 3 回定例会（9 月議会）

質問者：横関道恵議員

9 議員

20項目の質問を行い、町の考えをたどりました。

まちの考えを問う

一般質問

防災計画の見直しのポイントとは

総務課長 三連動地震、直下型地震対策



中川 祐司議員

中川

地域防災計画とは、

災害対策基本法に基づき、各地方自治体、県や市町村の長がそれぞれの防災会議に諮り、防災のために処理すべき業務などを具体的に定めるのが地域防災計画です。東みよし町の想定できる、あらゆる災害に対応した新しい防災計画とはどのようなものですか。その改正したポイントはどのようなものですか。

総務課長

従前の計画では、大きく一般災害編と震災対応

策編という2つでしたが、震災対策編を2つに分けて、三連動地震対策（南海トラフ巨大地震）と直下型地震対策に分割して対応策を計画しました。特に発生率が高いのは三連動地震ということですが、規模も最大マグニチュード9.1と言われていますので、この三連動地震対策に重点を置いた計画となっております。

中川

①三連動地震が触発して心配するのは、中央構造線です。三好地区に中央構造線が走っていますが、先般、徳島県は中央構造線活断層の特定調査区域を発表しました。これについて、町はどのように考えていますか。

②いざ災害が起これば町長が中心に災害本部長として、課長やそれぞれの

職員も役割を持ってその災害に対応されますが、災害が起こったときにすぐに機能できる組織を作ってはどうか。③地域防災計画に沿ってこれからのように実行していくのですか。

総務課長

①中央構造線活断層

を震源とする直下型地震が発生すると、活断層の直上では地表面にずれが



三加茂庁舎での防災訓練

生じるといったことで、真上にある特定施設を新築あるいは建てかえる場合には、自らが調査をして、県への届け出を行うということ義務づけの規定となっております。この件に関しては、本年度も予定の自主防災組織連合会の中で説明をします。②本町では災害時職員行動マニュアル冊子を各課に配付しています。職員の閲覧に供し、統一した行動がとれるよう努めていますが、本年度については、各課から主幹級を中心に防災担当職員を選任しました。その職員で会議を持ち、その中で各課の職員が連携した行動がとれる、実効あるものにしていきたいと考えています。③今後、順次、災害備蓄品も充実をさせていく予定です。また、三加茂庁舎、三好庁舎の消防計画の中で、昨年の2月に三加茂庁舎の業務時間中に、各課より36名の職員の参加のもとに消火、通報、お客様避難誘導、放水訓練を実際に行いました。本年度は、同じような訓練を三好庁

舎で実施したいと考えています。最終的には住民の方々を含めた全体的な防災対策、防災訓練を考えています。

中川

中央構造線活断層特

定調査区域40分の幅に東みよし町の公共施設が2つ含まれています。一つは昼間幼稚園、一つは東部福祉センターの北側の敷地です。どのように考えていますか。

町長

まず東部福祉セン

ターについては、耐震基準を全く満たしていません。現状は会合なり、簡易宿泊所として利用していたはありますが、企業誘致の一番の目玉として考えていますので、解体をして企業誘致という考えです。昼間幼稚園については、耐震基準を満たしていますが、被害がどこまで大きくなるのか、影響を受けるのか、想定ができませんので、今後また県の調査、指導をもとに対応していきたいと考えています。

町内の遊休資産を活用せよ

産業課長 調査及び活用を進めていく



まつうら あきひと 議員
松浦 明人

松浦明 町有及び民有の資産

廃施設など将来において利用する見込みのないと思われる遊休資産の現状及び今後の利活用の計画について、どのように考えていますか。

学校教育課長 東みよし町の学校等

については、3校1園及び東山教員住宅が教育財産から普通財産となっています。また、足代教員住宅については4戸全ての利用があるものの、大

藤及び江口の教員住宅については利用がなく、教育財産から普通財産としての活用、処分が必要となっています。三好学校給食センターについても教育財産から普通財産化して有効活用したいと思っています。

総務課長

行政財産から普通財産に移管をした6施設のうち4施設は地域で活用されていますが、2施設については老朽化が激しい等により、土地物件として売却する候補地と考えています。東部福祉センターについては企業誘致の切り札として、また旧三加茂中学校跡地については、住民福祉に供する設備あるいは、施設としての活用を考えて現状

維持で管理したいと考えています。未利用地については、処分検討を行った結果、有効な活用及び処分を計画していきたいと考えています。

産業課長

空家及び耕作放棄地

等については現在調査を進めており、今後は資産の有効活用を図り集落再生及び地域活性化、また産業振興活用を考えています。



利用のない江口教職員住宅

企業誘致及び進出企業への対応を

産業課長 好機を活かし進めていく

松浦明

本町の企業誘致及び

企業の進出の現状について、周辺自治体を含め現状及び対応はどうか、また、美馬市に大塚製薬が進出予定と報道されましたが、企業の生活圏としての本町の対応は考えていますか。

産業課長

本町では住民が活躍

でき、また本町の物産を活用できる企業を第一義に考えて、オーダーメー

ド方式を採用して誘致に取り組んでいます。現状として、企業が沿岸付近から内陸型の工場立地にシフトしており、この好機を積極的に生かしたいと考えています。また近隣進出企業への対応として、雇用、採用を働きかけるべきと思っていますとともに東みよし町の住みやすさをPRし、従業員の生活圏として波及効果が発揮できるよう努めたいと考えています。

加茂第一堤防完成後の高水敷活用を

産業課長 ぶぶるパークの拡張を計画

松浦明

以前の一般質問で、

加茂第一堤防完成後の高水敷の活用方法などについて検討していきたいという答弁がありました。その後の計画はどのようになっていますか。また、内水氾濫対策についてはどのように考えていますか。

産業課長

吉野川を望む癒やし

の場として、5カ年計画で遊歩道を主とした「ぶぶるパーク」の施設拡張を考えています。

建設課長

内水氾濫対策についての考え方として、国土

交通省が徳島県全体に7台、西部地区に2台配置している排水ポンプ車について町として増設を要望していますが、堤防完成後についても引き続き国に対して強く要望していきます。



拡張されるぶぶるパーク

保育所、学校でのアレルギーの把握は

学校教育課長 小学校では9種類、延べ555人



横関 道恵議員

涙目、呼吸困難などの症状が起こることを言います。町内の保育所、幼、小、中学校でアレルギーの調査をしていると思われるますが、アレルギーの種類と対象者数の把握をしていますか。

横関道

昨年、東京の小学校で食物アレルギーによる死亡事故が発生しました。アレルギーとは、くしゃみ、鼻水、かゆみ、

福祉課長

学校教育課長

アレルギーの種類と対象者数は表1のとおり。

表1【アレルギーの種類と人数】

種類	保育所	幼稚園	小学校	中学校
薬物アレルギー	—	3	3	7
食物アレルギー	14	7	52	27
動物アレルギー	2	1	5	—
花粉症	4	—	47	14
アトピー性皮膚炎	2	5	48	37
アレルギー鼻炎	—	3	185	127
アレルギー性結膜炎	—	2	138	59
ぜんそく	—	9	76	56
ハウスダスト	—	1	—	—
アナフィラキシー	—	—	1	—
合計	22人	31人	555人	327人

表2【食物アレルギーの種類と人数】

種類	保育所	幼稚園	小学校	中学校
牛乳	7	1	1	3
ヨーグルト				1
生卵・卵			1	
大豆	11	3	19	8
小麦	1		1	
そば		1	13	5
やまいも		1	1	1
ピーナッツ		1	4	
バナナ	1		1	
キウイフルーツ	1		2	1
エビ	1	2	7	5
カニ	1	1	3	1
缶・缶詰類			2	
缶・缶類			1	2
さば			2	
いくら				1
牛肉			2	
生肉・魚				3
カカオ			1	
スイカ			1	
メロン			1	
合計	23人	10人	67人	32人

食物アレルギーの種類と対象者数は

福祉課長 保育所では、7種類、23人

横関道

アレルギー調査結果の中で、①食物アレルギーの食物の種類、対象者の数は、②給食センターではアレルギーへの給食の献立、配膳への考え方と対象者への対応はどのようにしていますか。

アレルギー調査結果

福祉課長

②対象者には、アレルギー食物の除去を基本としています。特に除去の対象が多い子どもには、お弁当を持ってきていただく、それを調理室で食器に移しかえ、他の子供と同じような提供をしています。配膳時については、食器に名前を張り、盛りつけた後にラップの上に名前を書き、さらにクラスに持つていく前に確認をするというような二重、二重の対応をとっています。

学校教育課長

②アレルギー調査票を各学校で担任が取りまとめ、児童の実態に応じ、給食の原材料を詳細に記入した献立表を事前に家庭に配布しています。それを保護者に判断をしていただき、アレルギーの食材が含まれている献立のときには、家庭から弁当を持参していただいています。それ以外の児童・生徒は、アレルギー食材を給食として食べないよう、詳細な献立表により、担任の指示や児童自身の判断で給食から除外しながら食べる対策をとっています。今後の対策として、2学期初めをめどにアレルギー対応メニューを作成する予定です。

①食物アレルギーの食物の種類、対象者の数は表2のとおり。

福祉課長

学校教育課長

①食物アレルギーの食物の種類、対象者の数は表2のとおり。

その他の質問

投薬が必要な場合の対応は

学校教育課長 担任や養護教諭が対応

エピペンが必要な児童数は

学校教育課長 小学校に対象者が1名

アレルギーの周知は

福祉課長 毎年アレルギー調査を実施



学校給食

庁舎の一元化を

町長 将来本庁方式をとるべき



みやもと けんじ 議員

宮

町も合併して8年目

を迎え、新しいまちとしての形もだんだん整ってきたところですが、1つ大きな宿題、課題が残っております。それは、庁舎の一元化についてです。合併協議会の流れ、統合の経緯について説明をお願いいたします。また、分庁方式を経験した中で、メリット、デメリットがあれば教えてください。

副町長

合併協議会の協議の



三加茂庁舎

所在がわかりにくく、用件が複数にまたがる場合には、庁舎間の移動が生じるため、住民の方に負担をかける場合もあります。事務の効率化や住民ニーズへの迅速な対応など、スピード

結果として、新町の事務所は三加茂町3360番地、現在の三加茂庁舎に置くとなっています。分庁方式を採用し、三好庁舎に分庁機能を置くとともに、本庁及び分庁舎に総合窓口を設置することになっていきます。分庁方式のメリットは、既存の庁舎を活用したために

庁舎の改修経費が少なく、地域に密着した行政サービスが行えます。分庁方式の問題点は、組織が西庁舎に配置、配分されているために、窓口の

感を持った行政運営が難しいこともあります。

宮

仮に、三加茂庁舎に

一元化した場合、今のスペースでは職員数もおさまらないと思いますが、三好庁舎の現時点の職員数は何人ぐらいいますか。

副町長

三好庁舎で勤務している職員は、臨時職員を含めまして45名、教育委員会に11名、合計で56名勤務をしています。三加茂庁舎で勤務する職員は67名で、現在123名の職員が勤務をしています。

町行政の改革推進委員会の答申では、本庁方式に移行できないか検討を求めています。私も住民サービスの向上や行政の効率化を考えた場合、本庁方式を含めた利用方

町長

式について検討の必要があると思います。町の考えはどうですか。

旧三好町、旧三加茂町は、厳しい財政状況の中で、将来的に単独でやっていけないという判断をもとに合併

をいたしました。合併によって行政基盤を拡大し、また行財政改革を進めて、その中で、住民の皆様方の福祉向上や安全安心に向けての基盤整備をやっていくことが大きな目的だと思っています。そのためには、まだまだ行財政改革なり、もっとスリムな行政組織、行政体系を作っていくかなければならないと考えれば、近い将来、本庁方式をとるべきだと思えます。ただ、そのことによる課題、問



三好庁舎

題もやはり生じます。それをしっかりと解決する道筋を立てていくべきだろうと思います。行財政改革推進の観点からなく、さまざまな角度、財源、あるいは時期、住民の思い、そういったもの全てをしっかりと検討していくべきだろうと思います。各常任委員会において、この問題について、私なりの思いなり意見を発表し、意見をいただきたいと思っています。

学校でのアレルギー調査はいつからか

教育長 旧三加茂町時代から実施



よしまさ 長谷川 吉正議員

長谷川

平成25年
2月に三好

市で学校給食によるアレルギー症状が発生し、県教育委員会が調査を各学校等に指示したと新聞に載っていました。その調



ほほにアトピー性皮膚炎が出た症状

査の結果はどうだったのですか。アレルギー調査を毎年新学期に実施していたということ、いつごろから対策をしていたのですか。徳島市では、給食のアレルギー食材を抜いて、個別給食を出しているように聞きますが本町では、どのように対応されていますか。

教育長

県教委の調査について

の報告は、各学校より報告をしており、詳細なデータについては持ち合わせておりません。ただ、アレルギーにつきましては、生死の問題ということで、非常に重く捉えております。アレルギー対応給食については、人物、場所の確保に、多大な時間と予算を必要とするため、現在のところ、本町ではアレルギー対応

食の提供を、開始する予定はありません。アレルギー調査は、旧三加茂町時代から、一番大切な

は安全な給食を提供するということであり、合併後も続けています。

XPの対策が必要なPCは

企画課長 109台に対策が必要

長谷川

パソコンのウインド

ウズXPが、平成26年4月9日でメーカーのサポートが終わると聞きますが、現在、町が管理しているパソコンは何台ありますか。また、業務用の各システムでXPの対策は必要ですか、その費用はどうですか。教育関係で学校等が使用しているパソコンは何台ですか。その内XP対応で、今後なにかの対応が必要なパソコンは何台ですか。

企画課長

①町の業務用パソコン

は、総数は270台です。ネットワークで大きく3つに分かれていて、XPの占める台数は、基幹系ネットワークの52台

中31台、地域イントラ系ネットワークが39台の全て、情報系ネットワークの179台中109台がXPです。XPサポートが終了することにより、危惧されるのは、インターネットに接続しているパソコンになります。基幹系ネットワークのXPパソコン31台は、早急な対策の必要はありません。残りの地域イントラ系XPパソコン39台は、OSS、オープン・ソース・ソフトウェアと呼ばれる無料のOSで対応したいと思っています。情報系の、XPパソコン109台については、今年度中に対応します。比較的新しい、能力の高いパソコンにつきましては、OSの入れ替え、また、能力の低いパソコン

XPパソコン



については、買い替えをしたいと思います。基本的には「ウインドウズ7プロフェッショナル」というサポートが2020年まであるOSを入れる予定です。必要な経費は、本年度予算で615万円計上しています。

教育長

教育委員会が所管する小・中学校のパソコン

の台数は、現在、小学校の児童用パソコンは238台です。OSは全てウインドウズ7であり、特に問題はないと思います。一方、中学校の生徒用コンピューターは74台で、OSはウインドウズXPです。現在、これらのリース契約期間が平成26年6月末で終了しますので、セキュリティの心配のない状態で生徒用パソコンを整備

するという選択肢も視野に入れながら、検討しているところですが、また、教職員が利用している校務用パソコン

は、小中学校合わせて124台がウインドウズXPであり、新しいOSはウインドウズVistaを予定しています。このOSは、現在利用しているパソコンを購入したときのアップグレード用として用意されているもので、そのまま利用できるかどうかをたたいま検証を行っているところで

その他の質問

町ホームページに町条例掲載を

総務課長 早急に町ホームページに掲載をお願いします。

農業用ため池の耐震調査の対象は

産業課長 ため池60箇の内、4箇が対象

ボランティアの振興と育成は

企画課長 職員研修にボランティアの項目を



川原 勝市議員

川原勝

①少子高齢化や核家族が進む中、住み慣れた地域でともに支えあう町づくりの推進を図るには、ボランティアの振興と育成は大変重要だと思

いますが、町としての方針等はありませんか。②町内で活動しているボランティア団体の把握をしていますか。③町職員のボランティア団体等への加入（参加）状況は。④ボランティア専属窓口設置の考えはありますか。⑤町職員のボランティア研修等への参加について、どのように考えていますか。

企画課長

①阪神・淡路および東日本大震災という大きな天災を経験し、日本人のボランティア意識は高まり、その重要性は日本中にとどまらず、世界の人々の認識するところ

です。また、今後発生が危惧される三連動地震の対応のためにも、ボランティアの振興と育成は重要と考えます。残念ながら庁舎内を横断的に調整担当する課がないた

め、ボランティア全体としての振興と育成に關しての方針が無いのが現状です。②現在、町内で50団体ほど確認しています

が、現実には小さなグループから個人のボランティアまで多量のボランティアが存在しているものと考えています。③職員全員の正確な状況はつかめていませんが、団体に属し積極的な活動をしたり、個人で強い意志を持って活動をしている職員もいます。④これまで検討したことがありませんが、今後県や他市町村の事例を参考にしていきたいと思っております。⑤今後、総務課と協力し、研修の中でボランティア活動の項目を取り入れ、活動に対する意識を高めていきたいと考えています。



河川の清掃

吉野川オアシス(株)の経営改善は

町長 徹底した合理化に努めた



川原 正一議員

川原正

吉野川オアシス(株)の経営状況について、どこに注力し、どのように改善されたと考えていますか。

町長

平成24年度の決算については、赤字の解消というところまでできました。これは社長をはじめ職員の意識改革によるものと思われ、仕入れの見直しの徹底などの合理化につとめた結果だと考えています。

川原正

町はオアシスから年

額1,000万円を徴収してはいますが、オアシスの資産の中に2億2,700万円の預貯金があるので、これで借用地を評価して町がオアシスに売却してはどうですか。また、オアシスに關わるテナント業者や製品の出品者に町の保有するオアシス株の一部を売却して持ってもらうようにしたら、出資者がオアシスの収益改善にも努力するのではないですか。また、現在、資産として置いている預貯金はどのように運用していますか。

町長

オアシスの株式6,300株(額面5万円)のうち6,000株は東みよし町役場が保有しています。町の持株をテナントに出資、買い取っていただくことについては、十分検討したいと思



西側から見たオアシス

一般質問

地域おこし協力隊の募集を

企画課長 先進地の例、効果を見極めて



東みよし 槇山 幸一 議員

槇山

地域おこし協力隊の募集をして、農林業の応援や地域の協力活動をしてもらえないでしょうか。特に農業をしている人は、高齢者で、後継者もいません。地域おこし協力隊の人とともに東みよし町の米をブランド化して、高値で安定した値で売れないですか。

企画課長

※地域おこし協力隊は、平成24年度、全国で207自治体に617名が派遣されており、本県でも平成25年度は、24名が派遣されています。協力隊員の財政支援は、隊員1人当たり400万円、上限で、そのうち報酬の上限で200万円、活動費が上限で200万円、その他に、募集にかかる経費が200万円です。総務省の財政措置が



農村支援協力隊

一般質問

特別交付税であり、先進地の例や、効果等を見きわめた上で、導入については検討したいと思えます。

※地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方

において、地域外の人材を積極的に誘致し、定住、定着を図ることで、意欲のある都市住民のニーズに応えながら、地域の維持、強化を図っていくということを目的とする事業です。

東部福祉センターで太陽光発電を

環境課長 用地は企業誘致の切り札

槇山

東部福祉センターの用地を、太陽光発電に利用してはどうですか。250坪で太陽光発電をした場合、設備が約1,300万円、売電は年間170万円、8年くらいで償還でき、多少は利益が出てくると思います。現在、町は企業誘致の用地と言っていますが、もっと前向きに営業努力をするか、他の利用を考へてはどうですか。

環境課長

太陽光発電は、環境に優しく、メガソーラーとなると、10キロ以上のからの申請で、20年間の電気の買い取りが保障



東部福祉センター

されている状況です。設置条件としては2畝、大体2万平方メートルの開けた土地が必要になり、建設となれば、造成費、地質調査、電力系統の費用、また後のメンテナンス、管理費、撤去費用等も含めて、総合的な試算が必要です。東部福祉センターの用地は、企業誘致の切り札として所有しておきたいと言うのが町の考へです。

オアシスの交通量増加対策は

産業課長 大幅なリフォーム改修で憩いの場

槇山

来年、高速道路の徳島自動車道が高松自動車道につながり、高知方面や松山方面からの交通量が増えると思われます。そこで、吉野川ハイウェイオアシスについて、町として何か考えはありますか。

なりフォームが必要となっています。今後、お客される旅行者や住民の憩いの場になる施設にしたいと考えています。

産業課長

高速道路関係で、平成26年度には、①高速道路の全国一律料金化 ②橋の上の上乗せの部分料金の廃止 ③徳島インターからの鳴門ジャンクションの開通の3点だと思っています。吉野川ハイウェイオアシスの営業環境も大きく向上することとなると思っています。町としては、オアシスは平成11年に開業以来14年が経ち、いろいろと不具合も出てきているので、大幅



吉野川ハイウェイオアシス



町民運動会

南

合併後、
花火大会
(東みよしフェスタ)が
三好地区の小川谷運動公
園で1回開催され、その
後は三加茂地区で開催さ



議員 南 雅彦

3大イベントを三好地区で開催しては

町長 今後の開催については検討する

れています。また、町民運動会にしても、当初より三加茂中学校グラウンドで行われています。同じく東みよし町まつり(文化祭り)についても、三加茂地区で開催されています。三好地区の住民は、こういうことになるとは思っていなかったと思います。できれば一年交代で三好地区での開催はできないですか。また、これらのイベントに三好地区の山間部のお年寄りが参加しにくいというのは、送迎の直通のバスが少ないという点があります。どのように考えていますか。

町長

花火大会
について

は、商工会青年部の判断として、毎年東みよしの三加茂地区で行われて



東みよし町まつり

いる状況です。今後検討し、商工会にもお願いをしていきたいと思えます。町民運動会も文化祭りも合併協議会の中では実施はしないということに決定をしていました。ただ、町が合併して何もないでは、住民の方の一体感なり、協調してというような気持ちもなかなか生まれにくいということとで協議をし、東みよし町まつり(文化祭り)の実施、2年に一度の町民運動会の開催ということになりました。これらの開催について、駐車場の問題や昼食の賄い、トイレといったいろんなさまざまな課題が出てきました。三好地区でもアリーナや三好中学校、中央公民館の3階と4階などを検討しましたが、最終的には三加茂地区での開催

ということになりました。また、交通手段については、三好地区の山間部の方には不便ですが、全体を考えると、三加茂地域にも山間部もあるもので、大差はないと思います。送迎バスは地区を決めて会場までという形ですが、山間部全部は不可能です。1日の開催時間等考えると、かなり費用もかかるので試算をしたと思います。感情的な分、できたら交代にというような思いはあるかと思いますが、全議員にも意見をだしていただき、今後の開催については検討していきます。

議会放送を見るには

東みよし町の議会放送は、テレビ徳島に加入しているお宅のテレビでご覧いただけます。デジタル放送の場合は、※122チャンネルで、アナログテレビの場合は地上デジタル放送用のチューナーを接続していただければご覧いただけます。

ばご覧いただけます。議会放送は、年4回開催される開会日と閉会日の本議場の様子を生放送と録画での再放送を行っています。議員の一般質問や町の財政、方針がどのように決められていくのかを是非ご覧ください。

操作方法

※①リモコンで12チャンネルを押す

※②選局ボタンの「へ」を押す。

注) メーカーによって操作方法が違つので、ご注意ください。

①リモコンで12チャンネルを押す



②選局ボタンを押す

議会を傍聴
しませんか

皆さんが選んだ代表が
議場でどんな発言をして
いるのか自分の目と耳で
お確かめください。

どうぞお気軽にお越し
ください。

定例会は年4回(3月・
6月・9月・12月)に開
かれます。

日程・手続き等は議会
事務局へお問い合わせく
ださい。

TEL 82-6317



次の定例会は
9月中旬です。

テレビ放送を予定しています。



【表紙の写真】

7月のある日、プールの授業が
終わって校舎へ帰る時の一コマ
です。元気な三庄っ子たちです。

まちの 人

●シリーズ20●

元気な

東みよし町のグループ

昼間駐在所地域の安全を守る会

「地域の安全を守るために！」

三好地域の子供やお年寄りを守ろうと、平成5年に「昼間駐在所地域の安全を守る会」を設立(現 佐々木 喬志会長他、会員16名)しました。平成20年には、三好警察署から車への青色回転灯装着(青色パトロールカー)が認可され、昼間駐在所と連携のもと、毎週月・金曜日に自主防犯パトロールを実施しています。また、月2回は足代、昼間小学校や三好中学校前で下校時の子どもたちへの安全指導を行っています。気さくなおじさんが乗る青色パトロールカーを見かけた時は、お気軽にお声かけ下さい。



青パトを囲んで



昼間駐在所地域の安全を守る会

編集後記

▼6月21日に、平成25年 第2回 東みよし町議会が閉会しました。4月から私を含め3名が新しく町議会議員として加わり、初めての議会を経験しました。年間約73億円のお金がどのように使われるのか、また住民のために有効に使われているのか、そのチェック機関としての議員の職責の重さは図りしれないと痛感しました。▼今まで一町民として、この議会、たよりを見て、議会議員がどのような活動をしているのか、議会でのようなことが決められているのか、その様子の一面を垣間見ていました。今回から見ると逆には、書く側の議会、たよりの編集に取り組むことになりました。議会、たよりの質の高さや委員の熱心さには舌をまくばかりです。これから、町民の皆様によりわかりやすく伝えるため、鋭意努力していきますのでよろしくお願ひします。

広報特別委員会

委員 井添 伸一